



## 地元人が案内する 塩屋・下畑 ハイキングマップ

SHIOYA SHIMOHATA HIKING MAP

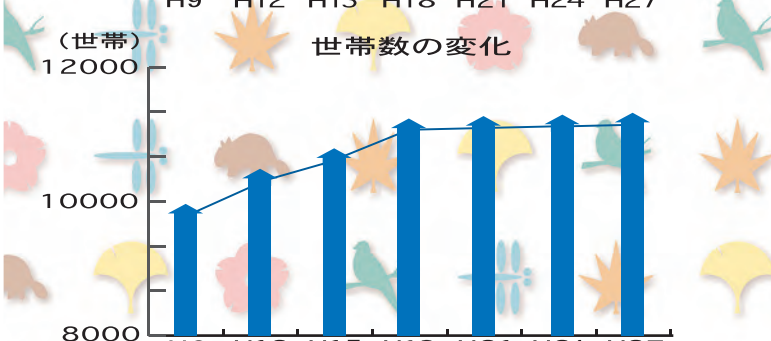
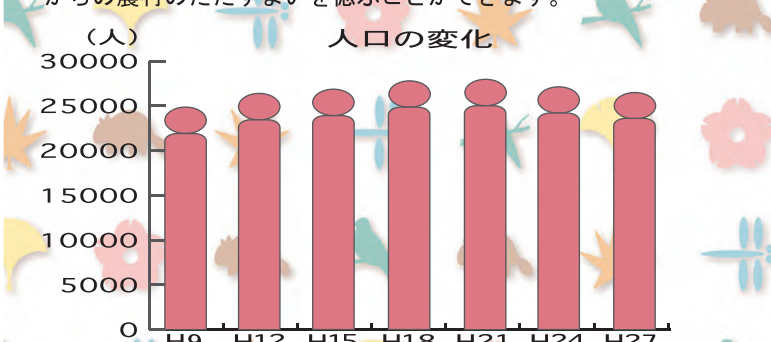


### 塩屋・下畑ってこんなまち

垂水区の東端、須磨区と境を接するこの地域は、古くは播磨と摂津の国境でした。「塩屋村」「下畑村」と呼ばれていた当時から、個性の異なる2つのまちを南北に流れる塩屋谷川が深く結びつけています。

潮の香りが漂う風光明媚な塩屋のまちには、かつて多くの外国人が移り住み、外国人居留地として発展しました。

また、下畑は、古くからの明石郡の荘園として、米作りや果実栽培(山桃)が盛んに行われていました。昭和35年頃から、道路整備や住宅地の開発が相次ぎ、まちの様子はずいぶん変わりました。しかし、点在する史跡や代々引き継がれている伝統行事に、昔ながらの農村のたたずまいを偲ぶことができます。



**編集後記**  
この地図は、垂水区区民まちづくり会議・塩屋・下畑生活文化園部会の活動の一環として、数回のまち歩き・ワークショップや、写真集・見所案内の文章作成など、みんなで力を合わせてつくりました。

この地図を片手に、塩屋・下畑のまちを皆さんに歩いてもらうことにより、このまちの魅力がより多くの人に伝わり、また、この地図に載っていない新たな魅力を再発見してもらえれば幸いです。

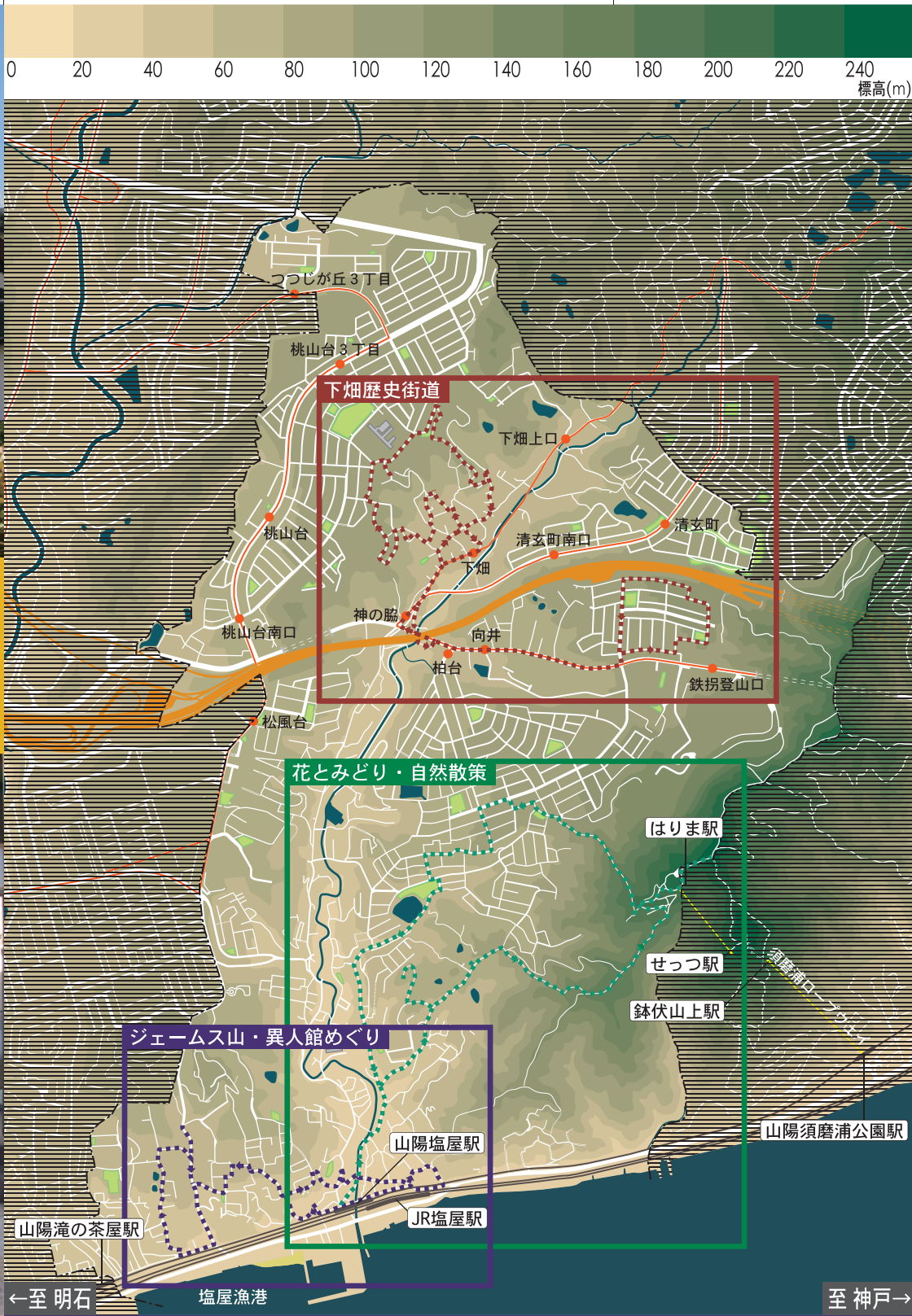
City of Design KOBE

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization

Member of the UNESCO Creative Cities Network since 2008

平成29年2月発行 垂水区役所総務部まちづくり課 神戸市広報印刷物登録 平成28年度 第535号 (広報印刷物規格B-1類)

編集・発行 塩屋・下畑生活文化園部会 垂水区役所  
お問い合わせ先 078-708-5151 (代表)



### 塩屋・下畑 ハイキングマップ

1:20000

0 100 200 500 1000 (m)

- 凡例**
- 裏面のハイキングマップの範囲
  - ハイキングルート
  - 塩屋・下畑 生活文化園区域界
  - バス路線・バス停
  - 鉄道・駅
  - ロープウェイ・リフト
  - 公園・緑地
  - 池

### 下畑歴史街道 route 3

美しい下畑のまちなみと数多くの史跡をめぐるコース。神社・仏閣やそれらにまつわる興味深い歴史にふれながら、ゆったりと散策を。

ハイキングルート

- 下畑老人憩いの家
- 久昌寺
- 井之谷公園
- 庚申堂
- 下畑海神社
- 天皇社
- 天高稲荷大明神・乙姫大明神
- 行者堂
- 朝谷東公園
- 一ツ地藏
- 下畑老人憩いの家

#### 下畑海神社 (map D-1)

下畑海神社は垂水海神社の元宮といわれ、また、垂水海神社の唯一の分神社ともいわれています。

15世紀の戦国時代のとりで跡である字城ヶ原という所に、現在の垂水海神社から1750年代に御分霊を迎え、創建されたとのことです。

明治30年までは日向(ひゅうが)神社と称し、それ以後、海神社と改名して、今日に至っています。

秋祭(体育の日)には子供みこしが練り歩くとともに神相撲(子供力士の奉納相撲)が行われています。

●山陽バス23、山陽バス・市バス15「桃山台3丁目」から南東へ徒歩約10分、市バス74「下畑」から北西へ徒歩約12分

#### 天高稲荷大明神・乙姫大明神 (map D-2)

承安年間(1171年~1174年)に、平清盛によって建立されたと伝えられており、「天高さん」「乙姫さん」と地域の人々に親しまれています。安産の神様「乙姫さん」には、浦島伝説が残っています。2月の第1土曜日・日曜日には稲荷講の人が当番となり、宵宮・本宮の祭りを開催しています。宵宮の夜には大明神の節で焚き火が行われ、参拝者はお参りの後、接待を受けます。

●市バス74「神の庭」から南東へ徒歩約2分、山陽バス23「桃山台南口」から南東へ徒歩約10分

#### 久昌寺 (map D-1)

円通山と号して臨済宗妙心寺派の寺です。天徳2年(958年)の創建で、行基がヤマモモの木で造ったと伝えられている聖観音菩薩像が本尊です。

また、本堂の前には、県指定重要文化財で、南北朝時代の観応3年(1352年)の銘のある「宝篋印塔(ほうきょういんとう)」があります。高さ1.98mもある花崗岩製のこの塔は、もともとは教典を納めるためのもの。市内でも特に美しい宝篋印塔として知られています。

●山陽バス23、山陽バス・市バス15「桃山台3丁目」から南東へ徒歩約10分、市バス74「下畑」から北西へ徒歩約10分

#### 水道記念碑 (map D-1)

昭和26年、塩屋谷川の伏流水を久昌寺前に設置した配水道までポンプアップし、町内に給水する簡易水道が完成しました。下畑老人憩いの家の隣に、それを記念する石碑が建てられています。

●山陽バス23、山陽バス・市バス15「桃山台3丁目」から南東へ徒歩約15分、市バス74「下畑」から北西へ徒歩約2分

#### 庚申堂 (map D-1)

五穀成就祈願・火難水難除けに青面金剛(せいめんこんごう)を、悪病・災難除けに塞之神(さいのかみ)を祀ります。節分から数えて最初の庚申(かのえのさる)の日に祭りをすることから、庚申さんと呼ばれるようになりました。

●山陽バス23、山陽バス・市バス15「桃山台3丁目」から南東へ徒歩約7分、市バス74「下畑」から北西へ徒歩約13分

### ジェームス山・異人館めぐり route 1

塩屋のまちを印象づける、洋館をめぐるコース。坂道と異人館の家並み、そこから見下ろす瀬戸内の風景は格別。

ハイキングルート

- 塩屋駅
- 旧ジェームス邸
- ライオン石像・岩船不動
- 安養寺
- 塩屋地域福祉センター
- 共同水道跡
- 西向地蔵
- 旧グッゲンハイム邸・旧後藤邸
- 塩屋駅

#### 旧ジェームス邸 (map D-4)

ジェームス山を開発した英国人貿易商ジェームス氏の邸宅(昭和9年建設)。スパニッシュ調の建物の中心部には円形の塔があり、日本離れした雰囲気を感じさせてくれます。

(※一部公開)

●JR・山陽電鉄「塩屋駅」から北西へ徒歩約20分、山陽電鉄「滝の茶屋駅」から北東へ徒歩約15分

#### 旧グッゲンハイム邸 (map F-4)

塩屋の斜面に建つ木造2階建の異人館(明治42年建築)。5連のアーチで構成されたベランダが、軽快なリズムと開放感を感じさせてくれます。

(※一部公開)

●JR・山陽電鉄「塩屋駅」から東へ徒歩約4分

#### 安養寺 (map E-4)

塩屋の由緒あるお寺で、一年を通じていろいろな行事が行われています。また、大晦日になると、除夜の鐘つきの長い行列ができ、小高い丘に建つお寺からの鐘の音が塩屋の町中に響き渡ります。

●JR・山陽電鉄「塩屋駅」から北西へ徒歩約3分

#### 塩屋村共同水道 (map F-4)

神戸市に合併されるまでの塩屋村では、塩屋大池を水源として水が供給されていました。各家庭に水道設備は無く、井戸の施設がない家庭では、共同水道を利用していました。当時、共同水道場所は各集落に3箇所程度あり、その場所が井戸端会議の場所となっていました。現在では、クリーニング店の前にその痕跡を残す石が残っています。

●JR・山陽電鉄「塩屋駅」から北へ徒歩約2分

#### 西向地蔵 (map F-4)

明治から大正にかけて塩屋で使われていた「やんだら」という地引網にかかって引き上げられたというお地藏様。西向きに祀ったことから「西向地蔵」として親しまれています。8月24日の地藏盆には、多くの方がお参りしています。

●JR・山陽電鉄「塩屋駅」から東へ徒歩約5分

### 花とみどり・自然散策 route 2

季節を感じる花やみどり、自然の生き物とふれあえるハイキングコース。旗振山山頂からは、西は東播、東は泉州方面まで、大阪湾を一望。

ハイキングルート

- 塩屋駅
- 山王神社
- 源平塚・亀光大明神
- 毘沙門天ほか
- 鉢伏山西部展望台
- 旗振山山頂
- 柏台南公園
- 塩屋大池
- 獅掛公園
- 塩屋駅

#### 梅林・句碑の細道 (map C-1)

鉢伏山西部展望台の南西側斜面に梅林が広がります。昭和35年ごろから植樹が始まり、現在では5種660本にもなりました。梅林の樹間には俳句を書きとめた多くの丸杭が立ち並び、平成4年には「句碑の細道」と名付けられました。これらの俳句を読みながら梅を観賞するのも楽しいものです。

●JR・山陽電鉄「塩屋駅」から北東へ徒歩約50分、須磨浦観光リフト「はりま駅」から西へ徒歩約5分

#### 源平塚 (map A-2)

一の谷の合戦(1184年)において、塩屋の地は戦場と化し、多くの戦死者を出しました。その死者を弔うために供養塔が建てられました。大きなものは武將級のものと思われる。今はひっそりとしたたたずまいですが、兵供の夢のあとが偲べれます。

●JR・山陽電鉄「塩屋駅」から北東へ徒歩約20分

#### 塩屋大池 (map A-1)

垂水区でも数少なくなったため池のひとつです。昭和36年ごろまでは、高台に大池と小池があり、農業用に引水されていました。昔は周辺には民家も無く、山桃やビワの木が群生していました。今日では周辺の開発が進み小池は無くなってしまいましたが、桜や花菖蒲の咲き誇る大池として、住民のオアシスになっています。

●JR・山陽電鉄「塩屋駅」から北へ徒歩約20分

#### 八十八ヶ所仏像 (map B-2)

源平合戦の多くの戦死者をとりうるため無縁仏の供養と成仏を祈り、八十八ヶ所の仏像を安置し、守ってきたと伝えられています。今は、惜しくも数体が残るのみです。

●JR・山陽電鉄「塩屋駅」から北東へ徒歩約20分

#### 毘沙門天 (map B-2)

塩屋村の鬼門に当たる場所にお祀りされています。村人の豊漁と繁栄を祈る道しるべがあちこちに残っており、他所からも多くの参拝者が訪れたと思われます。

●JR・山陽電鉄「塩屋駅」から北東へ徒歩約20分

## 塩屋・下畑地区のまめ知識 Column

- 「鯛取山」  
下畑海神社の東側に、こんもりとした小高い山があります。何か神社と関連があるのでしょうか？また、「昔、海に漁に出た漁師がこの山を見て自分の船の位置を知った」との説もあります。
- 「古山陽道」  
源平合戦の頃、須磨一の谷から境川までの海岸線は、交通の難所でした。当時山陽道は、須磨寺の東側から多井畑厄神を経て下畑村を通り、塩屋村へと続いていた。ちなみに須磨から塩屋間の官道は、江戸時代初期から一般的な街道として通行されたそうです。
- 「旗振山」  
山頂からは、東は泉州方面まで大阪湾を一望でき、西は淡路島全景、東播方面まで見渡せます。ここは「摂津の国」と「播磨の国」の境で、江戸時代から大正初期までは、量一量ほどの旗を振り、大阪・堂島の米相場を古加川や岡山へ伝えた中継地点であったといわれています。
- 塩屋大池の生き物たち  
塩屋大池は自然の宝庫。春には桜が咲き誇り、「垂水・花の名所づくり」のひとつとして「菖蒲園づくり」が進んでいます。また、神戸では希少な生き物である「チョウトンボ」や、懐かしい「ジュズ玉」、多くの水生植物が生息しています。秋口になると渡り鳥も飛来し、四季折々の顔があります。
- ジェームス山外国人住宅街  
英国人貿易商ジェームス氏が、「西の軽井沢」として塩屋西山の開発を行い、昭和8年に外国人の別荘地として完成しました。主な施設は、住宅(約50軒)、ポンプで海水を汲み上げた海水プール、テニスコート、動物園がありました。ライオンやトラ、サル、鳥などが飼育されていたようで、その名残として現在では「ライオン石像」「タイガー像」が残っています。また、敷地内には遊園地もあり、当時では珍しいジェットコースターもあったようです。この地域は外国人専用で、一般の日本人は立ち入りができなかったが、クリスマスには外国人クラブに塩屋小学校の児童が招待され、玩具などがプレゼントされていました。

(※現在、外国人住宅敷地内は、私有地につき関係者以外立入禁止)